

OBM マンスリー

2014.11月号 Vol.175

2014年11月25日発行

編集・発行

一般社団法人 大阪ビルメンテナンス協会

大阪市北区中津1-2-19 新清風ビル2F
TEL 06-6372-9120 FAX 06-6372-9145
Eメール info@obm.or.jp
ホームページ www.obm.or.jp

平成26年度 第73回全国産業安全衛生大会参加報告

平成26年10月22日～24日開催の「第73回全国産業安全衛生大会 2014 in 広島」(中央労働災害防止協会主催)に労務委員会委員として参加させて頂きましたので、ご報告致します。

10月22日、新大阪駅に午前10時30分集合、午前11時発新幹線にて、岡本委員、蓼委員、亀山委員計3名で一路会場の広島へ出発、午後12時26分、広島駅到着、早速会場である広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ)に向かい、総合集会へ参加しました。

開会前には、広島の伝統芸能である神楽「八岐大蛇」が披露されました。

総合集会では、安全衛生に功績のあった方々の表彰、厚生労働省の講演、元マラソンランナーの有森裕子氏の特別講演が行われ、またビデオメッセージをよせた榊原会長は「景気回復の鍵となるイノベーション推進のためにも安全で能力が存分に発揮できる職場づくりが必要だ」と訴えておられました。

10月23日(木)・10月24日(金)の2日間は労働災害防止に関するテーマごとに分科会が設けられ、全国の事業所からの改善事例や研究発表をはじめ、安全衛生の専門家や幅広いジャンルの講師による、シンポジウム等多彩なプログラムが用意されていました。



広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ)における「総合集会」風景

大会宣言

本年8月に広島市で発生した土砂災害では、多くの人命が失われ甚大な被害をもたらされた。犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げる。また、復旧・復興工事が安全に行われ、被災地において1日も早く安全で安心した生活が送れることを強く願うところである。

我が国の労働災害は関係者の努力のもと、長期的には減少してきたが、平成22年から3年連続で増加した。昨年は減少したものの、今年に入り再び増加傾向に転じており、特に、これまで労働災害防止活動に積極的に取り組んできた製造業、建設業、陸上貨物運送事業などで死亡災害が大幅に増加している。さらに小売業や社会福祉施設、飲食店においても労働災害が増加傾向が大ききわめて憂慮すべき事態である。

そのはいけいには、景気の緩やかな回復に伴う産業活動の活発化に加え、これまで現場を支えてきた世代の退職、就業形態の多様化などにより安全衛生のノウハウが若い世代にうまく伝承されていないことや安全衛生教育、安全パトロールなどの安全衛生活動が十分に展開されていないことなどが考えられる。

今日のこのような状況を打破するためには、経営トップの強いリーダーシップのもと、リスクアセスメントや危険予知活動などの安全衛生活動の総点検の実施、事業場の安全衛生管理体制の受実、雇入れ時の教育の徹底を中心とした効果的な安全衛生教育の実施などに、労使をはじめ、関係者が一体となって取り組んでいくことが重要である。また心身両面にわたる健康づくり、とりわけ、メンタルヘルス対策の一層の充実が求められる。

自主的労働災害防止活動の促進を謳った労働災害防止団体法の制定から50周年という節目に開催される本大会を景気に、労働災害の増加傾向に歯止めをかけ、労働災害による犠牲者をこれ以上出さないという強い決意のもと、すべての関係者が一丸となって、労働災害防止対策に取り組むことを誓う。

右、宣言する。

平成26年10月22日

第73回全国産業安全衛生大会

スームアップ



防災実践講座に参加して

毎年10月～11月にかけて大阪市消防局高度専門教育訓練センター（旧大阪市消防学校）内で（一社）大阪ビルメンテナンス協会警備防災部会主催による防災実践講座を実施しています。普通救命講習（AED講習）をはじめ、防災センター災害対応および消防設備の取扱い方、消火訓練、救出救護訓練、煙中暗体験等があり、単に座学だけでなく、参加者全員に実践体験していただく企画となっています。

まず、普通救命講習では、心臓や呼吸が停止した急病人に対する心肺蘇生法による救命措置およびAEDの使い方について学びました。他者にAEDを持ってきてもらうよう依頼し、AED到着後も、意識が回復するか、もしくは救急車が到着するまで、胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返す。119番通報してから救急車が到達するまで約8分（総務省消防庁調査による全国平均時間）を要します。

この間の救命措置が蘇生率をあげる重大なポイントとなります。

消火器による油パット火災消火訓練では、2人1組で消火作業を行いました。要領を得ないと消火に戸惑うこともあり、消火のむずかしさを体験しました。最近の消火器の状況について、今までは、加圧式消火器が主流となっていました。急激な圧力により容器の破裂事故を起こす可能性があり、容器内圧力が一定の蓄圧式消火器への生産に切り替わりました。

屋内消火栓訓練では、1号、2号消火栓ともに放水し、実際の水圧を体感しました。ちなみに、1号消火栓は、放射量が多く毎分130Lであり、2人以上が必要となります。また、2号消火栓は、1号消火栓より放射量が少なく、毎分60Lで老人や女性でも1人で操作可能です。

防災センターでは、自動火災報知設備が火災を感知すれば、火災か誤報かを確認して、火災であれば消防署の通報と非常放送等を2人1組で訓練しました。

各種消防設備の取扱いについて、特に自動火災報知設備の感知器の種類（熱・煙・炎）、誘導灯の種類および避難方向

について講義がありました。

煙の性情・煙中・避難訓練では炎と煙を体験しました。火災で危険なのは、炎とともに煙です。煙には一酸化炭素が含まれており、体内に吸収すると意識を失い、死に至ります。火災で亡くなる方の大半は煙が原因です。

最後に簡易器具を使つての救出、救護を体験しました。地震等で多数の負傷が出た場合、担架等の資機材が不足するため身近にある毛布、竿等を利用して応急担架を作り搬送する訓練でした。

今秋、NHK土曜ドラマ「ボーダーライン」が放映されましたが、大阪市消防局の協力のもと、実際に発生した、あるいは実際に起こりえる事件、事故を描いたそうです。また、ロケも市内の消防署において行われたと聞いています。ビルメンテナンス業はお客様の人命を守り、安全安心を提供している業界であること、また、それを成し遂げるためには、実際に即した研修が必要であることを痛感しました。来年も本講座を開催しますので、多数のご参加をお待ちしています。

（警備防災部会委員・西本英一郎）

26年度 第8回 理事会

11月7日（金） 協会会議室

1. 審議事項

- ①中間決算について／承認
- ②退会について
（株関西ユニトリトルウイング／承認）
- ③大阪府 入札制度の改善を求める要望書／承認
- ④大阪府「みんなで防止!!石綿飛散」推

進会議（仮称）の開催について／承認

2. 報告事項

- ①調整系委員会報告
- ②委員会・部会報告
- ③第45回実態調査へのご協力のお礼
- ④合同企業説明会報告について

委員会・部会

経営委員会

10月30日（木）出席者10名 協会展示室

1. BCPプロジェクト進捗状況について
・第五回を終えたBCPプロジェクトについて進捗状況の報告があった。
2. 理事会報告
・理事会の内容について報告を受けた。
3. 青年部分科会報告
・委員長と青年部分科会の打合せ内容について報告があった。
4. エコアクション21セミナー開催について
・10月30日現在、申し込み4社5名。
5. 経営委員会勉強会
・第三回勉強会として「文章の書き方」についての勉強会を実施した。
6. その他
・ビルクリーニング部会との合同研修旅行についての確認を実施した。

10月22日（水）出席者12名 協会会議室

BCP策定プロジェクト（第5回）

1. BCP策定ステップ⑤ BIA分析（その1）について
（1）今回のマニュアル案づくりに向けた研修課題は、次の項目に沿って実施した。
□アジェンダ 1. 目標復旧時間の設定（宿題の結果発表） 2. BIA分析とは 3. BIA分析 演習（業務主体

分析・ビジネスプロセス分析） 4. マニュアル作成進捗状況

広報委員会

10月20日（月）出席者8名 協会展示室

1. 「OBMマンスリー」H26年10月号の編集作業を行った。
2. 「こみゆにけ～しよんず新春号」の特集について検討した。

総務友好委員会

10月7日（火）出席者15名 協会会議室

- 各議題についての確認
- <ソフトボール大会について>
・再度ルール整備やチーム力別のトーナメント開催など次回に向けて検討した。
 - <ゴルフコンペについて>
・実施内容を確認した。
 - <麻雀大会について>
・案内文確認、10/10発送。締切は10/31。
 - <新年会について>
・実施内容を確認した。

賛助会世話人会

10月22日（水）出席者8名 協会展示室

- 11月21日（金）開催予定のミニ展示会・講習会最終確認
- ①集合時間 役割分担 出展企業最終確認

○2月10日（火）開催予定のミニ展示会・講習会について

①参加企業確認

展示 スイショウ油化 ケルヒャー リバース 装栄 インテックスソリューション

講習 インテックスソリューション

○新会員入会増強について

会員のしおりを講習会時配布

・11月21日（金） 11:00～1階OBITミニ展示会 講習会

労務委員会

10月20日（火）出席者10名 協会会議室

1. 平成26年度労働衛生大会について
参加者308名（申込み374名）
非会員22名と参加費無料、協力会社への声かけにより増加。
平成27年度労働安全大会 6/19（金）労働衛生大会 9/25（金）に決定。
2. KYT（危険予知訓練）11月の日程について
25日か27日に開催予定。
3. KYT（危険予知訓練）来年度の講師について
来年度より蛭井先生よりご紹介いただいた労働基準行政OB（監督署長経験者）佐藤雅彦氏。
4. 10/9（木）京都ビルメンテナンス協会安全大会
佐々木副会長 小林理事 下村理事 岡本委員 参加。
5. 10/22（水）～10/23（木）全国産業安全衛生大会 in 広島
亀山委員 蓼委員 岡本委員 参加予定。
6. 11/5（水）関西ガラス外装クリーニング協会 安全大会
佐々木副会長 小林理事 亀山委員 岡本委員 参加予定。
7. 来年度のセミナーについて検討
メンタルヘルス以外に、法改正なども含めて会員企業の役に立つような内容を。
8. 労働災害報告について
平成26年9月度の労働災害 15件の報告。

環境衛生委員会

10月8日(水) 出席者11名 協会会議室
第六回環境衛生委員会

1. 剥離廃液に関する意見
 - ・現実的にはオーナー様がしっかりしているところでは廃液業者に委託して廃液処理を行っている。
 - ・ビルオーナーの理解が一番大事である。
 - ・全国ビルメンテナンス協会で見解を出していただくよりも、行政の法律を優先すべきではないのか。
 - ・各都道府県のビルメンテナンス協会全体で取り組んでいかなければ、問題解決には至らないのでは。
 - ・アスベストは人命にかかわるので非常に厳しいが、剥離廃液に関してはそこまでの被害がないので問題になっていないのが現状である。
 - ・琵琶湖周辺では琵琶湖総合開発特別措置法がある為、排水しているところは規制が厳しい。
 - ・剥離廃液を流すとどのような罰則があるのか?
→下水道に流せば下水道法(1回目は厳重注意、2回目は何らかの処罰があると思われる。)
→浄化槽に流せば水質汚濁防止法(同上)
 - ・ビルメンテナンス業者は指定事業者でないで特定ができない。
2. 感染症
 - ・セアカゴケグモは大阪府下では必ずいるのに対し、東京では少し出ただけで大ニュースになる。
 - ・デング熱感染者が西宮市で発見された、感染場所は阪急西宮北口駅の北西付近。
 - ・蚊が一番生息しやすい場所はビルではないのか。
→温度が一定している場所が多数ある為
 - ・中国の残留農薬が大きなニュースとなったが、残留農薬が原因での死者はいない。
→怖いのはやはり死者を多く出しているウイルスである。
 - ・ビルメンテナンスとして気を付けなければならない感染症は、ネズミ、白アリ、ゴキブリと言われてきたが、現在はハチやトコジラミなども脅威である。
3. 日程
10月31日 14:00~26年度 第二回大阪府との意見交換会
10月31日 15:30~第七回環境衛生委員会

10月31日(金) 出席者10名 協会会議室
第七回環境衛生委員会

1. アスベストセミナー
開催日時:平成26年10月24日 14:00~17:15
出席者:環境衛生委員会、設備保全部会(17名)、会員外(27名)
 - ・石綿飛散防止対策・大気汚染防止法及び大阪府生活環境の保全等に関する条例開催について
講師:大気指導グループ 副主査 武田雅史氏
 - ・石綿障害予防規則改正に伴う「適切な石綿含有建築物の解体工事方法」について
講師:専門家講師 島田啓三氏
 - ・事前調査におけるJISA1481による石綿含有判定マニュアル解説
講師:日本水処理工業(株) 脇谷壮太郎氏
 - ・平成26年6月1日に改正された大気汚染防止法について。
2. 大阪府との意見交換会の意見集約について

10月31日(金) 出席者17名 協会会議室
平成26年度 第2回建築物衛生に関する意見交換会

1. 環境衛生分科会の平成25年度活動報告につ

- いて
2. 剥離廃液問題について
 - ・環境衛生課に対する質疑事項を確認した。
3. 平成26年度大阪府特定建築物における水景施設実態調査中間報告について
4. 入浴施設
 - ・施設別によるレジオネラ菌に対する対処方法を確認した。
 - ※建築物環境衛生管理技術研究集会(平成27年1月22日~1月23日)にて
→特定建築物における水景施設実態調査結果を発表する。
5. 管理技術者の兼任について
 - ・問題点を確認した。

設備保全部会・環境衛生委員会 共催

10月24日(金) 出席者44名
日本水処理工業株式会社

設備保全部会・環境衛生委員会 共催 改正大気汚染防止法・石綿障害予防規則 アスベストセミナー

- (1) 今石綿飛散防止対策・大気汚染防止法及び大阪府生活環境の保全等に関する条例の改正について
(講師 大阪府環境農林水産部環境管理室 事業指導課 大気指導グループ副主査 武田雅史氏)
 - ①石綿飛散防止規制の対象について
 - ②解体等工事時の石綿飛散防止対策の流れ
 - ③事前調査の実施について
 - ④国土交通省、経済産業省「石綿(アスベスト)含有建材データベース」について
 - ⑤建築物等の解体等工事の際の届出についての変更内容
 - ⑥石綿が使用されている建築物等の解体等作業時の注意
- (2) 今石綿障害予防規則改正に伴う「適切な石綿含有建築物の解体工事方法」について
(講師 平成26年度建築物の解体事業時の石綿漏洩防止対策等に係る周知啓発事業 専門家講師 島田啓三氏)
 - ①石綿の基礎知識
 - ②各法令の規制対象となる石綿含有建材
 - ③石綿飛散防止対策の概要
 - ④石綿粉じん飛散防止対策 作業場の隔離を行う場合
 - ⑤石綿障害予防規則の改正のポイント
 - ⑥労働安全衛生関係法令に基づく発注者の責務およびお願い事項
- (3) 事前調査におけるJISA1481による石綿含有判定マニュアル解説
~自社ISO9001品質仕様書 改訂版~
(講師 日本水処理工業株式会社 脇谷壮太郎氏)
 - ①事前調査における採取箇所選定について
- (4) セミナー前後での検査室見学

公益事業委員会

10月15日(水) 出席者8名 協会会議室

1. 天神祭清掃ボランティアの課題
 - ・具体的案件について意見集約した。
2. ビルメン社会貢献セミナー
申込者122名 参加者104名
・今後の課題について検討した。
3. アピリンピック ビルクリーニング種目
全国大会視察(名古屋):下村理事、金ヶ崎委員が参加。
大阪代表者の事前練習会:11/12(水) 10:30集合 14:00練習開始
4. 障がい者雇用支援スタッフ養成講座
日程:11/6(木)、11/13(木)、11/20(木)
修了証の手続き→加藤委員、事務局 藤村氏。

契約推進委員会

10月15日(水) 出席者8名 協会会議室

1. 大阪市議会陳情の件
 - ・「城東区役所庁舎及び城東区保健福祉センター分館庁舎清掃業務委託清掃」を検証。
 - ・「契約履行確認マニュアル」について
 - ・「業務委託契約履行確認チェックシート(施設清掃版)」市担当者が利用しチェックしている。
2. 大阪府積算予定価格検証の件
大阪府立母子保健総合医療センターを検証(風間委員の積算)。
 - ・国交省の積算基準に基づいたものであれば最賃で計算されている。
 - ・大阪府にも陳情か請願したい。まずは陳情する。
 - ・「入札制度の改善を求める陳情書(案)」11月開催の理事会で審議。
 - ・国土交通省「低入札価格調査基準価格の見直しについて」H25年5月16日から一般管理費が30%→55%へ引き上げ。
3. 公共施設等総合管理計画の件
 - ・総務省→各自治体「公共施設等総合管理計画」の策定要請。
 - ・遅くとも平成28年度までには策定予定。
 - ・「マネジメント研究委員会」10月24日実施 OBMからインスペクションについてプレゼン。

ビルクリーニング部会

11月4日(火) 出席者17名 協会展示室
全体会議

【会議内容】

1. 加藤副会長より11月13・14日の研修旅行の最終案内
2. DVDの試写会
 - ①A班・B班のDVDを試写後、気になった点などの意見交換。
 - ②A班・B班DVDのそれぞれの最後に、携わった部会委員名を入れることを製作会社に依頼。
 - ③正式タイトルは「免許皆伝 クリーンクルーのマナーと安全」DVD。
 - ・それぞれのDVDタイトルは「クリーンクルーのマナー編」「クリーンクルーの安全と健康編」。
 - 1つのパッケージの中に2枚のDVDを封入。チャプターはパッケージの裏表紙に記載。
 - ④「OBMこみゆにけ~しよんず 新年号」に委員会の活動報告として、DVD紹介記事を掲載。

警備防災部会

10月21日(火) 出席者11名 協会会議室
委員会

報告事項

- (1) 防災実践講座について
要項を確認した。
- (2) 通勤災害事例について
通勤災害事例3件の報告があった。
- (3) 避難誘導・初期消火訓練について
訓練内容及び事例研究について説明があった。

設備保全部会

10月14日(火) 出席者17名 協会会議室
第6回委員会

○各小委員会活動報告 (管理技術調査研究)

- ・技術レポート今秋発行予定であるが依然として進捗が遅れている状況である。
アズビルと意見交換会を行い記載内容及

び役割の分担が決定したのでレポートの発行に向けて作業を進める。

(研修・見学会)

- ・今年度研修見学会「あべのハルカス」の施設見学を10月16日(木)実施決定。参加申込49名で実施。
- ・研修を「イオンディライト ながはま」の模擬装置の施設見学と座学を12月18日(木)決定。募集人数は30名程度予定。

(設備保全業務研究)

- ・地震発生に伴うマニュアル作成を展開中である。

○東西情報交流会

- ・11月13日(木)～14日(金)実施
- ・大阪テーマ:「事故事例と安全対策」
進行:赤川委員 発表:寺本委員
サブタイトル「人名尊重」と「BCP」の実施に向けてに決定。
赤川委員より討議内容の事前説明。
※東京協会へ討議内容として「会社全体での安全対策」、「各現場での安全対策」を事前に事例の用意を願う。
- ・テーマ別担当委員の参加割り当てを決定(各テーマ5名)。

10月16日(木)出席者43名

大阪市阿倍野区「あべのハルカス」
「あべのハルカス」施設見学会

1. 建物概要

- ・事業主:近畿日本鉄道株式会社
- ・高さ:300m
- ・敷地面積:約28,700㎡
- ・延床面積:約306,000㎡
- ・階数:地上60階 地下5階

2. ハルカス建設までの経緯

高さ300m日本一の先進的な都市機能を集積した立体都市「あべのハルカス」を建設する引き金として、近鉄百貨店の老朽化による立替計画と阿倍野地区が都市再生緊急整備区域に指定されたことで具体的な検討作業が2006年から始まった。計画当初は航空法による高さ制限が約295mの制限区域に入っていた為に、260m前後の高さを予定していたが、その後航空法の改正により高さ制限が緩和されたことを受け、日本一の高さとなるビルが建設可能と成ったとの事。

3. 「あべのハルカス」ビルの特徴について

ア) 新たな省エネ・省CO₂の導入等

- ・バイオガス設備や再生可能エネルギー設備
百貨店やホテルから発生する生ごみ(約3トン/日処理可能)を、ディスポーザで粉砕し、粉砕された生ごみは液体と固体に分離され、液体は厨房排水と混合して処理された後、下水に流される。固体はメタン発酵槽で約10日熟成し、メタンガスを含むバイオガスを発生させ、メタンガスを取り出しガスをボイラーやコージェネ発電機のエネルギーとして利用している。
- ・他にも、太陽光パネル(16.6kW)・マイクロ風力発電(1kW×3基)・ホテルの雑用水を利用している落水発電機(3kW×2基)などエネルギー対策を考えた発電設備が備え付けられていた。
- ・ボイド(吹き抜け)構造
建物全体を通して「ボイド」という吹き抜け空間を設けることでビルの中を風(外気)が通り抜け、ビルが呼吸しているような効果をおこすほか、エアフローウィンドー(窓の断熱性)を利用してビル内の照明に自然光を取り入れることにより負荷を低減している。

- ・LEDによるオフィス照明
オフィスや会議室など、快適性や生産性など必要な場所の環境づくりに、LED照明の色温度や明るさなどを制御することにより、「サーカディアンリズム」と呼ばれる、24時間周期の生体リズムと光の関係を照明制御に応用し、省エネも図れるとの事。
- ・エネルギーマネジメント
ビルの各用途に応じた負荷先毎に供給も考えており、例えば百貨店の冷房排熱をホテル・オフィスの給湯・暖房に利用する熱回収用冷水チャラーを設置するほか、エネルギーの使用状況が異なる百貨店、オフィス、ホテルに於いてもモニタリング実施することで、総合的に状況把握を行い、コントロールすることで、ビル全体のシステムの最適化を図っているとの事。

イ) 地震対策について

最新の耐震技術(メガストラクチャ耐震構造)と制振技術(ハイブリッド制振構造)を組み合わせ、超高層建築として震度7クラスの地震を想定した最高水準の安全性を確保している。耐震構造には、地震時の変形を抑制する耐震ブレース、鋼管とコンクリートを組み合わせた超高度CFT柱、複数の基礎を組み合わせたバイルド・ラフト基礎などで構成され、制振構造には屋上に2種類の振り子を組み合わせ、強風時の水平振動を抑えるATMD(Active Tuned Mass Damper)、高層部にトラス部材から吊り下げられた心棒と周辺部位とをオイルダンパーで接続している心棒ダンパー、変形能力に優れている為地震のエネルギーを吸収する波形鋼板壁やオイルダンパー・回転摩擦ダンパーなどで建物の振動を低減する効果を発揮して、最高水準の耐震性を実現している。

4. 施設見学の主な内容

見学会のスタートは、25階の貸会議室で「あべのハルカス」のコンセプトや超高層ビルとして省エネ・省CO₂に関する設備の導入や地震・災害対策設備などを数多く取り入れている内容説明を受けた。見学は2班に分れ、バイオガス設備を含め、あべのハルカスの中心となる設備機器が設置されている地下5階の機械室と受変電設備や非常発電機が設置されている15階の電気室などを見学した。防災センターには見学者人数の都合により、見学が出来なかった事は少し残念であった。その後、今回のメインイベントでもある屋上展望台へと移動し、大阪市内等を360°展望出来る「絶景」を堪能した。

近畿地区本部だより

●医療関連サービスマーク書類作成説明会のご案内

- ・開催日時 12月18日(木)13時～17時
 - ・会場 (一社)大阪ビルメンテナンス協会 研修室
 - ・参加対象 医療関連サービスマーク(院内清掃業務)の更新予定事業者の申請担当者、または、これから認定申請を希望する事業者の申請担当者
 - ・参加費 会員1名3,240円(会場費・資料代等として。消費税含む)
 - ・定員 50名
 - ・申込締切 12月10日(水)
- ※送達文書にてご案内いたしますが、詳細は事務局までご連絡ください。
ホームページからダウンロードもできます。
(<http://www.obm.or.jp>)

●“外国人(ベトナム)技能実習制度”説明会のご案内

全国協会よりご案内しておりますが、会員の皆様を対象に、国が進める外国人技能実習制度を活用したビルメンテナンス業における外国人雇用について説明会を開催いたします。

<内容>

- ・外国人技能実習生受け入れにおける経過報告
 - ・外国人技能実習生、制度概要説明、事例報告、質疑応答
 - ・実習生受け入れに関する個別相談
 - ・日時:12月3日(水)14時～16時
 - ・会場:(一社)大阪ビルメンテナンス協会 研修室
 - ・参加費:無料(会員限定)
 - ・1社2名まで
(お申込み多数の場合は1社1名にさせて頂くこともありますのでご了承ください。)
- ※送達文書にてお送りいたしますが、受講申込書をご希望の方は事務局までお問合せください。

●大便器・温水洗浄便座清掃マニュアルの無償提供について

近年、温水洗浄便座が公共建築物に設置されるケースが増加していることから、適切な清掃方法の普及を目的として、当協会及び一般社団法人温水洗浄便座工業会が共同制作した「大便器・温水洗浄便座清掃マニュアル」を全国協会のホームページにて公開いたしました。

また、工業会より同マニュアルの一部改訂・増刷に伴い、マニュアルを多数ご提供いただきましたので、会員様にも無償提供いたします(在庫が無くなり次第終了)。

お申込み用紙を「ビルメンテナンス誌」に同梱してお送りいたしますが、詳細は事務局までお問合せ下さい。

事務局からのお知らせ

●新年会開催のご案内

FAXでもご案内しておりますが、会員相互の親睦を深めるため、新年会を下記により開催いたしますので、多数ご参加下さいますようお願いいたします。

- ・日程:1月8日(木)12時～14時
【受付11時30分より】
※名刺を頂戴いたします。
- ・会場:帝国ホテル大阪 3階 孔雀の間
大阪市北区天満橋1-8-50
TEL 06-6881-1111
- ・会費:会員1社につき1名は無料、左記以外の方は1名につき12,000円
※今回は立食形式ではなく、お席を指定させていただきますので、出欠のお返事は12月4日(木)までにご返信をお願いいたします。

会員だより

●住所変更

【正会員】

- ・株式会社不二ビルサービス
〒530-6010
大阪市北区天満橋1-8-30
OAPタワー10階
(電話・FAX番号は変更ありません)
(平成26年12月1日より)

●退会

【正会員】

- ・株式会社 関西ユニタリトルウイング
(平成26年10月31日付)

教育センターだより

(公財)日本建築衛生管理教育センター講習会予定

- 統括管理者 (再)
 - ・受付期間 平成26年11月25日(火)～12月1日(月)
 - ・実施期間 平成27年1月13日(火)～14日(水)
- 空気環境測定実施者 (再)
 - ・受付期間 平成26年11月25日(火)～12月1日(月)
 - ・実施期間 平成27年1月15日(木)～16日(金)
- 清掃作業監督者 (新規)
 - ・受付期間 平成26年12月2日(火)～8日(月)
 - ・実施期間 平成27年1月19日(月)～20日(火)

- 貯水槽清掃作業監督者 (新規)
 - ・受付期間 平成26年12月9日(火)～15日(月)
 - ・実施期間 平成27年1月27日(火)～30日(金)
- 貯水槽清掃作業監督者 (再)
 - ・受付期間 平成26年12月15日(月)～19日(金)
 - ・実施期間 平成27年2月5日(木)～6日(金)
- 統括管理者 (新規)
 - ・受付期間 平成26年12月16日(火)～22日(月)
 - ・実施期間 平成27年2月2日(月)～4日(水)
- 空調給排水管理監督者 (新規)
 - ・受付期間 平成26年12月16日(火)～22日(月)
 - ・実施期間 平成27年2月12日(木)～13日(金)
- 空調給排水管理監督者 (再)
 - ・受付期間 平成26年12月17日(水)～24日(水)

- ・実施期間 平成27年2月10日(火)
 - 空気環境測定実施者 (新)
 - ・受付期間 平成26年12月17日(水)～24日(水)
 - ・実施期間 平成27年2月16日(月)～20日(金)
 - 建築物環境衛生管理技術者
 - ・受付期間 平成26年12月19日(金)～26日(金)
 - ・実施期間 平成27年2月24日(火)～3月13日(金)
- ☆いずれも阪急千里中央ビルにて

※申込期間に提出できるよう、早めに申込用紙を請求してください。
用紙の請求・申し込みは公益財団法人日本建築衛生管理教育センターへ。
(TEL 06-6836-6605)

私の半世紀

福田久美子

1964年の東京オリンピックから、早くも半世紀が経ちました。6年後には、また東京でオリンピックが開催されます。50年前のオリンピックは私の記憶には全くありませんが、自分が生まれた年なので、開催年だけは忘れません。年々、月日が経つのを早く感じます。50歳になった途端に、老後のことを考えるようになりました。きっと老眼が進んできたせいでしょう。

この年になって、趣味は持つべきだったと悔やんでいます。虫が苦手な私は、老後に田舎暮らしができるはずありません。幼いころに、田舎のある人が羨ましかったのを覚えています。夏休みや冬休みになると、田舎に行った思い出を日記帳に書けるからです。

私の生まれ育った場所は神戸です。現在は実家も北区に移転していますが、子供の頃は灘区だったため、摩耶山へよく遊びに行きました。日曜日の朝に母の手伝いをすると、友達を誘ってお菓子を持って、摩耶山へ連れて行ってもらえるのです。それが嬉しくてしかたありませんでした。いつも通る山道で、1ヶ所だけどうしても自力で上れない坂道がありました。母や友達はさっさと上るのですが、私は四つん這いになって、一歩ずつ進んでも、坂道途中で止まってしまう、またずると滑り落ちてしまうのです。四つん這いになって進むのが難しかったことを覚えています。赤ん坊の頃は、あんなに上手に四つん這いで、猛スピード

で進めるのに、坂道を四つん這いでゆっくり上ろうとすると、案外難しいものです。結局、誰かの助けがなくては上りきれませんでした。ときどき、あの坂道はまだあるのかな？ と思いつくことがあります。あの坂道を上りきっていたら、私の人生も違っていただろうのかな？ と思ったりもします。

子供の頃の私は、いまの自分が想像できないぐらい、人見知りの激しい子供でした。大人の前では、蚊の鳴くような声で挨拶をしていました。小学校4年生のとき、喘息になり、発作が起きるたびに通院を繰り返していました。運動会の練習で、トラックを1周走ったあと、ハアハアの息が戻らず、そのままゼーゼーヒューヒューと喘息に罹ってしまいました。肝心な時にいつも喘息の発作が起きます。小学校の修学旅行も発作のため行けませんでした。

そんな病気がちな私が、喘息を治したい一心で、中学、高校はバスケットボール部に入りました。多少の喘息発作が出ていても、試合があれば出かけていきました。そして試合に出ていると、いつの間にか、発作が出ていたことを忘れて治っているのです。その喘息も、高校を卒業するころには完全に治っているようでした。

短大、OL時代になんともなかった喘息でしたが、6年ぶりぐらいに発作が出たのです。しかも結婚式の前日におかげで、結婚式は発作を堪えるのに必死でした。

大阪に出てきて、もう27年が経ちました。これからは、老後を楽しめるように、趣味を見つけることに専念したいと思います。

労務委員会 労働災害事故事例 (H26年10月度発生分より)

10月度の報告企業数65社、業務災害は15件、1ヶ月以上の休業見込は4件で、14日未満が11件、15日以上2件、通勤災害は2件でした。また、報告回収率は、28.6%という結果です。

今回は10月7日、大阪市北区の商業施設の地下3階、ゴミ庫にてゴミを計量後、ゴミ廃棄カートへ運ぶ際、計量台のゴミ袋を持ち移動しようとしたところ、左手に持っていたゴミ袋を踏み、足を滑らせバランスを崩し外枠に躓き前のめりに転倒、左手首を床面で強打し、左手首の橈骨遠位端を骨折休業見込31日以上という大きな災害となった事例です。

作業そのものに余裕がなく慌ててしまったことが主な原因と考えられます。

通勤災害の事例として、10月6日、大阪府茨木市での自転車通勤の際、この日は台風18号の影響で風雨が非常に強く、その為にハンドルを取られ転倒し、腰・背中を強打し、背骨の圧迫骨折という大怪我が発生、休業見込31日以上という重大事故となった事例です。

そもそも、台風時に自転車通勤を行うことに無理があり、また安全教育として気象警報が出た場合は、自転車通勤は禁止という明確な指示・教育がなかったように思われます。安全対策の参考として下さい。

速報!!

第8回 ビルメンこども絵画コンクール 審査結果発表!

全国ビルメンテナンス協会主催の「第8回 ビルメンこども絵画コンクール」(応募総数11,680点)の審査結果が発表されました。

所 萌々果 さん(大阪狭山市立第七小学校)が 文部科学大臣賞 を受賞されました! おめでとうございます!

その他にも、テラモト賞2名、全国協会賞1名、銀賞3名、銅賞32名の方々が受賞されました。おめでとうございます。

審査結果は、全協ホームページ http://www.j-bma.or.jp/concours_top/kekka.pdf でご覧いただけます。

OBM行事予定

11月	25	火	経営委員会 KYT(危険予知訓練)実務研修会
	26	水	ビル設備初級技術者講習(~28日) KKC石材メンテナンス研修会
	27	木	KKCマンション管理業務主任者受験対策セミナー
	28	金	警備防災部会全体集会 KKC監事会
	29	土	
	30	日	ビルクリーニング技能検定実技ペーパー・学科試験(チサンホテル新大阪)
12月	1	月	経営委員会エコアクション21セミナー ビル設備管理科通信訓練1級学科(~2日)
	2	火	近畿地区定例合同懇親会(新阪急ホテル) KKCビル設備管理コース(~4日)
	3	水	広報委員会 外国人(ベトナム)技能実習制度説明会
	4	木	KKC防除作業従事者研修
	5	金	理事会
	6	土	
	7	日	
	8	月	ビル設備管理科通信訓練2級学科(~9日)
	9	火	KKC遺品整理・整理収納セミナー
	10	水	KKC警備員現任教育
	11	木	保全業務マネジメント研究委員会(大阪府)
	12	金	総務友好委員会
	13	土	
	14	日	
	15	月	労務委員会 環境衛生委員会 設備保全部会
	16	火	
	17	水	広報委員会 公益事業委員会 契約事業委員会/積算分科会 ビルクリーニング部会
	18	木	設備保全部会見学会(イオンテライトアカデミー) サービスマーク書類作成説明会
	19	金	経営委員会 警備防災部会(別会場)
	20	土	
	21	日	
	22	月	
	23	火	天皇誕生日
	24	水	BCP策定プロジェクト

KKCお薦め講習会(12月)

12月実施予定のKKC主催の講習会は次のとおりです。受講希望の方は、申込書をKKCホームページ(<http://www.bmkkc.or.jp/>)よりダウンロードし、必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申込みくださいますようお願い申し上げます。

●今、注目の「遺品整理」「整理収納」について学ぶセミナー

時代のニーズから生まれたサービスとして、最近注目を浴びている「遺品整理」「整理収納」の仕事について学ぶセミナーです。
 <日 時>12月9日(火) 13時~17時
 <会 場>新清風ビル(中津)講習会場
 <対 象>「遺品整理」「整理収納」を今後事業展開しようとする企業の担当者、どのような仕事なのか興味のある方

●ビル設備管理コース(大阪府認定職業訓練)

電気・空調・給排水各設備など現場での設備保全管理に必要な知識に併せ、現場での積算、コスト管理の考え方を学ぶ講座です。修了者には大阪府知事の「認定訓練修了証」を交付します。
 <日 時>12月2日(火)・3日(水)・4日(木)
 13時~17時

編集雑感

秋の深まりに想う

最近、地方への出張をしていて感じた事を書いてみたい。
 熊本の棚田は美しい。なぜか、大分や宮崎で見るそれより美しく思う。その理由はよく判らないが、段々ごとの畝の曲線が見事に揃っているからかも知れない。
 秋の実りの季節、たわわに実った稲穂が黄金色に輝き、みな同じ方向に頭を垂れ風にそよいでいる。その風景は、懐かしくもあり、美しいと感じる。多忙な出先での慌ただしさのなかで、ふと心を和ませてくれるひと時だ。
 これから、新米の季節である。私はご飯が大好きだ。ダイエットのために炭水化物を抜いているという人にたまに出会うが、正直何を考えているのかと思う。人間の身体の部位の名前は、稲から名

づけられたそうだ。稲の「芽」「花」「葉」「穂」がそれぞれ人間の「目」「鼻」「歯」「頬」にあたる。そしてそれらを地中でしっかり支える「根」がある。「根がやさしい」「息の根を止める」などの言葉は「心」や「命」のように、目に見えない大切なものを表現する言葉として用いられてきた。
 農耕生活を送っていた古代の日本人にとって、稲は最も大切なものだったので、人間自体を稲になぞらえたのではないかと自覚し、ご飯を食べる前には必ず自然の恵みに感謝して頂きたいものだ。
 私たちが普段使っている「いただきます」という言葉には、私たちが生きていくためには動物や魚、野菜、穀物といった、もともと生命を持っていた生き物たちを「いただく」という、とても深い意味が込められている。
 「ごちそうさま」は漢字で「御馳走様」と書くが、「馳」「走」とは食べるものを準備するために、忙しく動き回ったり、

料理する様子を意味するそうだ。そのような労力や誠意に対して、敬意や感謝を表す言葉が「ごちそうさま」なのだ。
 こんな文章を書いていると、お腹が減ってきた。さあ、今夜は何を食べようかな。松茸ご飯なんか最高だな。「いただきます」と「ごちそうさま」に込められた感謝の気持ちを忘れずにいただこうと思う。
 最近少し気になることがある。それは日本語の「いただきます」や「ごちそうさま」という言葉は、英語やロシア語には、見当たらないということである。
 英語とロシア語以外についてはわからないが、少なくともこの二カ国語には「いただきます」や「ごちそうさま」の適切な訳語はない。
 秋の深まりの中、新米の松茸ご飯を食べながら、こんな疑問に悩んでいる。
 (S. T)

<会 場>新清風ビル(中津)講習会場
 <対 象>設備管理の初任者、担当者

●電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令に基づく実務経歴書作成セミナー

電気事業法をはじめ電気関連法規の一層の理解と習得を図るとともに、自主保安体制の確立につなげること並びに第三種電気主任技術者の育成を目的として開催します。
 <日 時>12月3日(水)・8日(月)・16日(火)・18日(木)・24日(水)
 計5日間
 全日 10時~17時

<会 場>にちほビル研修センター(㈱日本電気保安協会)
 <対 象>設備管理業務従事者で認定校卒業者

●防除作業従事者研修

厚生労働大臣の登録を受けて実施する従事者研修です。修了者には事業登録申請の際に使用できる「修了証書」を交付します。
 <日 時>12月4日(木) 9時20分~17時
 <会 場>新清風ビル(中津)講習会場
 <対 象>防除作業従事者

●警備員現任教育[後期]

「警備業法等の解釈運用基準」に規定された部外実施教育として警備業者に代わり実施する、警備業法に定められた現任教育です。修了者には「教育実施証明書」を交付します。
 <日 時>12月10日(水) 9時~18時
 <会 場>新清風ビル(中津)講習会場
 <対 象>施設警備業務を担当する現任警備員
 ○今後の開催日程(後期)は、2月5日(木)、2月24日(火)、3月26日(木)(各日とも9時~18時、新清風ビル)

★ビルクリーニング技能検定の
 実技試験対策におすすめ!!★

『最新版・合格への近道』
 (DVD+CDセット)
 床・ガラス・カーペットの実技3課題の
 手順とポイント、標準時間内作業、資機材
 の使い方の基本を紹介。同梱CDにはDV
 Dの内容を記載したテキストをPDFフ
 ァイルで収録。
 販売価格 8,208円
 (KKC正会員様/送料込・税込)



申込・問合せ先: 一般社団法人関西環境開発センター(KKC)
 教育訓練部
 電 話: 06-6372-9123
 F A X: 06-6450-8038
 E-MAIL: bmkkc@swan.ocn.ne.jp
 URL: <http://www.bmkkc.or.jp/>